

# 地域貢献の深化を

山形県  
北部地区会



衆院議員の井上融2社の限度額、新規業和行秘書、本間幸仁支社長、退職者の会の渡辺将二会長、沓澤康平顧問、中野正顧問ら多くの来賓を迎え、荒木尚人総務理事(間沢)が司会を務めた。

庄司会長は「昨年末は近年にない豪雪という厳しい環境だったが、臨時出張所の開設など積極的な年賀はがき販売の営業活動により東北25エリア中で2位を占めた。かんぽ営業でも12月は東北1位の月伸となった。山北の底力を示してもらった」と感謝の言葉を述べた。

また、地方創生が重要政策となっているが「明治4年の創業から営々と引き継がれ、心をつないできた郵政事業は144年を迎える。創業時からの理念である『地域への貢献』を深化させ、郵便局の有用性を高めていくためにも原点に立ち返り行動することが求められている。地域に根差し、地域のお客

課題の地方創生に寄与する。郵政の歴史に残る大切な年、一体となつて全力を尽くしていこう」とのDVDが放映された。

永年勤続功労として20年の大井英樹副会長(西五百川)、15年の高橋三雄局長(及位)を表彰。新会員の佐藤和彦局長(羽前大堀)、宇井洋行局長(京塚)が紹介された。

議長に渡邊昇司局長(村山本郷)、副議長に渋谷勲局長(高松)を選出、書記に犬飼亨局長(左沢)、工藤純一局長(柴橋) 議事録署名人に長岡啓一局長(西川)、渡辺賀代子局長(三泉)が指名された。26年度の会務報告、27年度の事業計画などを承認した。

さまの安全・安心の拠り所として寄与してきた郵便局は、必ずや地方創生、地域再生のための一助になりうるものと確信している」と訴えた。

さらに、東日本大震災発生から間もなく4年を迎えるが「未だ多くの人が困難な生活を強いられている。同じ東北に暮らす者として、引き続き地域、仲間、そして被災した郵便局の1日も早い復旧・復興を願ってやまない」と述べた。

そして「上場という未知の分野に入ることになるが、地域のお客さまが郵便局に何を期待し、何を求めているのか見極め、全ての会員が所期の目標達成に向け一致結束して行動することをお願いかけた。

【役員(敬称略)】  
 会長 庄司泰朗(釜淵)  
 副会長 大井英樹(西五百川)  
 理事 荒木尚人(間沢)、伊藤久(大石田)、工藤芳弘(白岩)、川口文雄(河北)、佐藤博一(北谷地)、岸愛二(羽前赤倉)  
 監事 志田浩一(大井沢)、渋谷恭司(西里)

山形県北部地区郵便局長会(庄司泰朗会長/釜淵)は「未来に繋ぐ礎を高い理想と信念で創ろう。築こう。山北会」をスローガンに2月7日、27年度通常総会を東根市の花の湯ホテルで開催した。

岸宏二参院議員、鈴木憲和参院議員、大沼みずほ参院議員、遠藤利明



庄司会長

企業価値を高める観点からも、収益を出していける企業体にするため大きな課題がある。金

「上場に向けて」